

特定保守管理医療機器 アドバンテージ ワークステーション (専用ソフトウェア)

【形状・構造及び原理等】

構造・構成ユニット

本ソフトウェアは以下の構成部品により構成される。

- ・ アドバンテージ ワークステーション専用ソフトウェア一式

詳細については、付属の取扱説明書を参照すること。

作動・動作原理

全身用 X 線 CT 装置(CT)、磁気共鳴画像診断装置(MR)等の画像データを出力できる画像診断装置や、デジタルラジオグラフィ装置などの画像処理装置からネットワークを経由して転送される画像データを受信し、磁気ディスク、又はメモリ上の画像データに対して拡大、3D(3 次元画像表示)等、各種の画像解析を施すことができる。オペレーターは画像データ呼び出し機能により、画像データを随時モニタ上に呼び出すことができる。

【使用目的又は効果】

使用目的

画像診断装置等から提供された人体の画像情報をコンピュータ処理し、処理後の画像情報を診療のために提供すること。

【使用方法等】

使用方法

本製品は推奨仕様を満たす汎用コンピュータ、又は医療機器に製造販売業者が指定した方法でインストールして使用する。

1. 組み合わせ対象が汎用コンピュータの場合
本ソフトウェアのインストールに関して、推奨する動作環境、汎用コンピュータのスペック、及び OS、モニター、及びモニター解像度等については、最新の Product Data Sheet を参照し、適合したものを組み合わせること。
2. 組み合わせ対象が医療機器の場合
本ソフトウェアは以下の医療機器と組み合わせて使用可能である。

・ 汎用画像診断装置ワークステーション

販売名	承認番号等
AW サーバー	22200BZX00295000
セントリシティ・ユニバーサル・ビューワ	225ABBZX00019000

**・放射線治療計画プログラム

販売名	承認番号等
アドバンテージ シム MD	30200BZX00106000

3. 操作方法

(1) 装置の電源投入、及び起動

コンピュータ、及びモニタの“POWER ON/OFF”スイッチを“ON”にする。
モニタ画面上にユーザ ID 入力メニューが表示されるので、キーボードよりユーザ ID を入力することにより、使用可能状態となる。

(2) 画像の選択、及び呼び出し

本装置にネットワーク接続された、CT、MR 等の画像撮影装置より取り入れられた画像データの中から、診断対象とする画像を選び、モニタ画面上に表示する操作である。モニタに表示されている画像データ一覧から、表示を希望する画像をマウスでクリックすることにより、画像が呼び出される。

(3) 画像表示

より効果的に読影・診断を行うため、ウィンドウ幅、ウィンドウレベル設定、各種画像処理を行う操作である。モニタに表示される所望の処理項目を選ぶことにより、画像処理を実行し、診断を行う。

(4) シャットダウン

モニタ上でシャットダウン機能を選び、シャットダウン後、必要に応じてコンピュータとモニタの電源スイッチを切る。

使用方法等に関する詳細な仕様については、付属の取扱説明書を参照すること。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ・ 推奨仕様を満たす汎用コンピュータにインストールすること。
- **・ 本製品のオプション「アドバンテージ シム MD」機能を使用する場合は、付属する取扱説明書に記載されている安全の項に従うこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

住所： 〒191-8503 東京都日野市旭が丘 4-7-127

保守サービス連絡先： カスタマーコールセンター
電話： 0120-055-919

*製造業者： ジーイー ヘルスケア
(GE Healthcare)

国名： アメリカ合衆国

社内部品番号： 5854763

取扱説明書を必ずご参照ください。